

西国巡礼慈悲の道

西国第三十番 竹生島

宝蔵寺

見えないものが観える

管主 峰 覺雄



平成二十年秋から二十二年春に掛けて花山法皇一千九百三十三所結縁御開帳』が各お山にて厳修されました。当山ももちろん秘仏の御本尊『千手千眼観世音菩薩』様の御開帳を行いました。その期間のある日、一組のご夫婦がお参りされました。ご主人は全盲で、奥様も大変視力が弱く目のすぐ前にある物を見るのがやっとだとの事。当山では結縁御開帳の

期間、ご本尊様の指先から伸ばしたお手綱の先に五鈷杵を結び、ご本尊様の手の代わりにお握り頂きお参り頂いておりました。このご夫婦が寄り添うように五鈷杵にやつとの思いで手を触れられた時、ご主人が「観音さんが見える！」と大きな声で叫ばれたのです。「まあ、そんなんみえるわけ無いがな。目が悪いのに。」奥様が声をかけられると、「いや、目が見え

んでも、わたしにはお姿がわかるんや。感じるんや。ありがたいがなあ。」とご主人。ものが見えるとかではないのです。心の眼で感じ、心の眼を通して本尊『千手千眼観世音菩薩』様と心の会話をして頂けたのでしよう。

物事の善し悪しを心で感じる事が大切なのです。その時、今まで気が付かなかった自然の恵みに素直に感謝が出来、人々の情に感謝が出来、そして自分も周囲の人に対してそうしてあげたいと奉仕の喜びを持つことが出来るのです。心の安らぎは、其処に湧いてくるものです。まさしくこれが『観音』という言葉の持つ深い意味なのです。

観音様のお教えは本当に素晴らしいのです。私たちは目の前に見える事、つまり物や人の行動ばかりに気を向けているから、不満が増幅するのです。物質的価値ばかりが優先される現代社会で人々の心が荒むのも必然でありましょう。人間は物欲には限りを知らず、決して満足を持てない生き物なのです。

従って、心の眼を開き、



西国第三十番

 ほうごんじ
 竹生島 宝厳寺

真言宗豊山派

御本尊／千手千眼観世音菩薩 開基／行基菩薩

 つきもひも なみまにうかぶ ちくぶじま
 ふねにたからを つむここちして


✳ 主な年中行事 ✳

1月1日～4日 修正会
 2月2日～4日 星供養祭（節分会）
 7月最終日曜日 豊穰祈願祭（佛餉会）

8月1日 蓮華会 頭人供養法要
 8月15日 蓮華会（竹生島辯才天大法要）

毎月15日（8月15日を除く）

辯才天特別祈願日

（商業繁栄・芸能向上祈願）

この日に祈願すると辯才天様の御徳をより多く戴けるといわれています。

毎月18日 観世音回向祈願日（月牌供養）

観音風光

当山の観音堂は、京都豊国廟より移築の豊臣家の遺構であり、特に唐門は現存する唯一の大坂城（秀吉築城）の建物として有名です。平成25年4月より平成31年3月までの六年間をかけ屋根の葺き替え・壁柱等の漆の塗り替え・彩色の塗り直しなどの工事を行います。皆様には期間中、何かとご不便をお掛けすることもございますが、どうかご協力をお願い申し上げます。

ご詠歌の意味

謡曲『竹生島』に「月海上に出でては波間を兎が走るか面白の島の景色也。」と謳われています。月の兎が降りてきたことは福德の御利益を表す表現です。弁天様・観音様の住む不思議な島、是が竹生島です。日の光月の光に照らされて、湖に浮かぶ竹生島はまるで七福神の宝船のようにさえ思えると詠っているのです。

〒526-0124 滋賀県長浜市早崎町1664-1

TEL 0749-63-4410 <http://www.chikubushima.jp>

納経時間 午前9時30分～午後4時（観光船就航時間内）

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。